

## 暮らしに役立つ 金融経済講演会

### 高齢社会をささえるネットワーク ～能力と財産を活かして幸せに暮らせる社会～

日時：平成28年10月30日（日）14：00～15：33

場所：サンポートホール高松 5階 第2小ホール

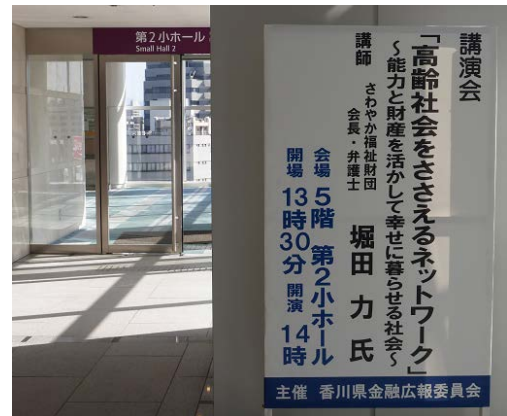
主催：香川県金融広報委員会

後援：NHK高松放送局、四国新聞社、RNC西日本放送、金融広報中央委員会

内容：

#### 14:00～14:05 開会挨拶 香川県金融広報委員会会長

- ・70歳になると正答率が下がる。
- ・堀田さん、全国を飛び回り、先週も高松に来ていた。



#### 14:05～15:33 高齢社会をささえるネットワーク～能力と財産を活かして幸せに暮らせる社会～

○講師：さわやか副資材団会長・弁護士 堀田力

○プロフィール

- ・1934年京都府生まれ。京都大卒業後、検事任官。
- ・東京地検特捜部ではロッキード事件捜査を担当。91年に退官、弁護士登録。
- ・「高齢社会NGO連携協議会」共同代表、厚生労働省の高齢者介護研究会座長などを歴任。

○はじめに

- ・とても良い天気、どこかに散策にいこうと思うような日に、多くの方々にお集まりいただきありがとうございます。
- ・検事時代から「仏の堀田」と言われていた堀田です。
- ・世の中には1～2%、悪い人がいる。また、こういう人たちが元気で、いろいろな知恵を絞ってくるかもしれない。世の中うまい話はありません。
- ・「俺は引かからない」と思っている人が、引かかっている。いい人が引かかかる。悪い人は、やり方を知っている、引かかからない。
- ・欲を出さない。年金が入ってくるでしょ。それを使って、最後まで幸せに暮らすことを考えましょう。
- ・ボランティア活動を初めて25年、いろいろなすばらしい人と知り合え、良い人ばかりで楽しく、元気をいっぱいもらっている毎日です。
- ・検事の時代は、会う人会う人悪い人ばかりでしたから。

○同窓会

- ・自分だけの楽しみをやっているか、家に閉じこもっているかの人がある。
- ・私も82歳ですから、がんばって同窓会に出るようにしている。次には会えないだろうなあと思う人と、次もしぶとい奴だというのは、だいたいわかりますねえ。
- ・顔が死んでいる。表情がない。おもしろいことを言っても笑ってくれない。関心がない。
- ・毎回同じ話をする奴は危ない。最近、何もしていないので、新しい話が出てこない。
- ・する事があって、講演会や集まりにでてくる人は、新しい話が出てくる。顔がイキイキしている。
- ・大学の連中がへばっている奴が多い。大学を卒業し、そこそこのところに就職して仕事をし、辞めてからがダメです。部下を仕切ってきた人が家に引きこもり、仕切りたくても奥さん

しかない。奥さんだって、言われっぱなしではない。

#### ○こんな人が公園に行くと

- ・公園はママ友の集まり、高齢者がふらっと入っていくと、「子供をさらわれるのでは」とにらまれる。
- ・図書館に行くと、学生、受験生の場所です。
- ・美術館に行っても、よくて2時間ほどしか持たない。
- ・ボランティアでもしようと、うちの財団に来て、「何をやればいいんでしょうか」と。自分のやれること、やりたいこともわからず、会員（幽霊会員）になってしまう。

#### ○好きなようにさせて

- ・今までがんばってきたからと、旦那さんを立ててくれる奥さんがいる。
- ・家でごろごろテレビの番だけして、「何をしている」「どこに行く」「何時に帰ってくる」と奥さんを監視する。
- ・2階で仕事をしている奥さんが、1階にいる旦那さんから呼ばれ、「庭に干してある洗濯物が落ちている」と。旦那の洗濯物、自分で拾えばいいものを、奥さんにとらせる。文句を言えない奥さんはうつ病に。
- ・うつ病で奥さんが入院し、何も出来ない旦那さんは、一升瓶が部屋に並んでいき、体をこわして入院。
- ・旦那さんが入院すると、奥さんのうつ病が治った。

#### ○男性は肩書き

- ・うちのボランティア団体の会員となり、「名刺を刷りたいが、肩書きはどうしたらいいでしょうか？」との質問。理事と会長は定款に書いてあるので、それ以外の肩書きなら何でもどうぞ。  
→ 一番多いのは「部長代理」
- ・ボランティア団体ですから、名詞を使わなくなったら本物です。

#### ○そんな夫の追い出しかた ふたつ

##### ①ほったらかす、かまわない

- ・19時までほっとく ビールを飲みたくて、チーズや枝豆、道具のあり場所を探す。そこから自立が始まる。
- ・21時までほっとく 晩ご飯を作り始める。
- ・1泊あける
- ・2泊あける 洗濯物をし始める。
- ・急にすると怒るので、徐々にやる。
- ・男性は「お金の自立」は出来ているが、「生活の自立」が出来ていない。

##### ②誉める

- ・枝豆を茹でたら、茹でたらずでゴリゴリであっても、「きれいな色に上手に茹であがってるわねえ」と誉める。堅かろうが、まずかろうが、食べるのは旦那なんですから。
- ・アイロンをかけたら、シワシワでも「上手にアイロンかかっているわねえ」と誉める。着るのは旦那なんですから。

#### ○社会にとっても不幸

- ・ する事がなくて、時間を持て余して、活力が無い人、すぐにへばる。寝たきりでずっといる。社会にとっても不幸。
- ・ やりたいこと、好きなことをやって、人から喜ばれて、歳をとるとはいいことだと、若い人のモデルにならなくっちゃあ。 ← 高齢化の最先端を行っている社会に住む私たちの責務です

#### ○私の母 生きる心構え

- ・ 産みの母親は4歳でなくなった。中学の教師をしていた後妻。79歳でガンになり、咳をし始めた。父は肺ガンで既に亡くなっていたので、肺ガンだろうと思った。
- ・ その当時は、ガンは告知しない時代だった。妹と弟と病院に行き、医者から結果を聞いたが、母には言わなかった。
- ・ 母は、誤導尋問（ごどうじんもん）で、
  - 母「肺結核ですか？」 医師「いえいえ、違いますよ」
  - 母「肺ガンですか？」 医師「・・・」 ← 肺ガンだと推察する
  - 母「良い肺ガンですか、悪い肺ガンですか？」 医師「良い肺ガンです」 ← 肺ガンを確信する
- ・ 医師の「余命は1年だ」に対しても、あと1年だと考えずに、あと365日だと考えて、一日一日を大切な時間だと考えて生きていく。
- ・ 母の俳句 「死ぬために生きるにあらず、冬薔薇（ふゆそうび）」
- ・ 母は、治療の副作用でぼおーっとして、人に迷惑をかけたくない。右脳は俳句を作って鍛え、左脳は英語の本を読んで鍛える。
- ・ 退院し、妹の家で療養をしていたが、だんだん日本語を思い出せなくなり、俳句を作れなくなる。すると、スケッチ、絵を描くようになった。
- ・ 病院の先生と看護師さんに感謝して、亡くなっていった。

#### ○仲間とのつながり

- ・ 最後まで、仲間とのつながりがあると、すばらしい。
- ・ 女性 筋萎縮症で施設に入院し、頭はすっきりしているのに体が動かない。辛かったろうと思いますが、目と首の動きで入力出来るITで短歌を作り続けた。
- ・ 作れば、人に見て欲しい。見てもらい、誉められたい。
- ・ ITで短歌仲間とつながり、指導へのお礼「ありがとう」。人の役に立っている。
- ・ こんな体の状態でも、すばらしい人生で、幸せに生きているという、輝いた目でした。

#### ○ボランティア

- ・ 96歳 男性 墨絵を教えていた
- ・ 自分の話を伝えるだけ
- ・ 人の話を聞くだけ  
そんな人でも、ボランティア活動が出来ます。
- ・ 添え寝ボランティア 一人で寝る「不安」を解消してあげられる
- ・ 高齢者の最大の課題は「不安」。
- ・ 人の役に立っていると、毎日が楽しい。

#### ○今がチャンス

- ・ 要支援者、要介護者 介護保険がパンクしないよう、軽い方の要支援者の買い物や、洗濯や、助け合いでやれば、介護保険料を節約できる。

- ・年金から、介護保険料を1万円も引かれると辛いですよ。助け合いが出来るように、高松市も取組を始めている。
- ・集まれる場所を作ろうとの動きが出てくる。「場所」は大事。参加して、集まってください。
- ・子供でも、認知症の人でも、認知症の大学の先生でも、誰でも集まれる。
- ・要介護4の庭師のおじいちゃんが、集まれる場所に参加し、自立までに回復していった。→集まれる場所の庭の木が気になり、剪定し、喜ばれ、車椅子、立ち上がり、梯子に乗るまでになった。
- ・自分のする事を見つける。お茶を入れる。掃除をする。編み物を習ってもいい。話をしてもいい、話を聞くのも、習うのもボランティアです。
- ・自分で介護保険料を節約し、自分で自分の体を活かし、自分で幸せになり、家族も幸せになり、社会の役に立つ。

—以上—